



2018年1月11日
ミニストップ株式会社
(証券コード 9946)

各位

国内外の商業施設初！ 環境に配慮した木造店舗の新たな試み 国産FSC®認証材を使用したリユース店舗オープン

ミニストップ株式会社(本社:千葉県千葉市 代表取締役社長:藤本 明裕、以下:ミニストップ)は、国産FSC®認証材を活用した新たな取り組みとして、2018年1月12日(金)、国内外の商業施設初となる国産FSC®認証材を使用したリユース店舗を、埼玉県深谷市に開店いたします。

ミニストップは、地球温暖化防止や生物多様性の保全を目的として、環境に配慮した店舗建設に取り組んでいます。その一環として2009年より、適正に管理された森林から切り出された木材である国産FSC®認証材を活用した店舗展開を進めています。

2017年12月末現在、ミニストップ出店エリア27都府県に延べ246店舗を建設しています。

■新たな試み:木材のリユース(再利用)

ミニストップの木造店舗は、木材の接合部分にボルトを用い分解や再利用を可能な設計にするなど、建設段階からリユースを見越した対応を行っています。

リユース店舗の建設には、閉店店舗と開店店舗の距離(CO2排出量の抑制)、閉店から開店までの期間(保管期間の短縮)など環境やコストの側面から一定の条件が必要となります。これらの条件に合致した物件において、新たな取り組みとして、閉店店舗の木材を活用したリユース店舗を建設いたしました。

同じ大きさの店舗を再利用する場合、**柱や梁など約73%の木材の再利用が可能**です。なお、土台や間柱、筋交いは新しい木材を使用し、強度を確保いたします。

ただし今回は、旧型店舗(18型)から現在の標準店舗となる新型(20型)への店舗面積を広げての移築となるため、再利用できる木材に制限があり、**再利用率は約33%**となっています。

(ご参考) 旧型・18型店舗:横幅18m、面積:約53.45坪、木材使用:約13m³

新型・20型店舗:横幅20m、面積:約60坪、木材使用:約16m³

今後も、諸条件が合致した際にはリユース店舗の建設を行い、FSC®認証材を活用した取り組みを継続するとともに、環境と社会面で持続可能な店舗づくりを実現してまいります。



〈店舗概要〉

- 店舗名:ミニストップ深谷小前田店
- 住所:埼玉県深谷市小前田字新田2899-1
- 店舗面積:199.92m²
- 木材使用量:15.5898m³
内再利用木材:5.1408m³



木を植えています

私たちはイオンです

■FSC®認証材を使用するメリット

FSC®認証材は、木材が育った森林、切り出された木材の流通や加工のプロセスが確認でき、森林の環境保全と地域社会の利益に繋がる持続可能な調達に繋がります。また、従来の店舗建設に使用していた価格変動が激しい鋼材に比べ価格が安定し、中長期的に建設計画を立てやすいというメリットがあります。さらに、建物を軽量化することで基礎工事を簡素化(※1)することができ、従来の鉄骨工法に比べ、CO2を約33%削減、工期を約10日削減、建屋を分解し組み直しが可能なためリユースにも対応できるなど多くのメリットをもたらします。

※1: 主要構造材を工場で生産することで、現場工事での廃材を大幅に削減し、資源採取から資材生産の過程で発生するCO2を約33%削減

【FSC®認証とは】

FSC®(Forest Stewardship Council®: 森林管理協議会)とは、森林環境保全に配慮し、地域社会の利益にもかからない、経済的にも継続可能な形で生産された木材を第三者認証する国際的な会員制の非営利団体です。FSC®の認証システムは、森林管理を認証する「FM認証(Forest Management 認証)」と、加工・流通過程を認証する「CoC認証(Chain of Custody 認証)」の2種類の認証があり、両方の認証を得たサプライチェーンを通じて使用した木材だけが、FSC®認証材を使っていると呼ぶことができます。

■FSC®認証店舗およびFSC®認証材使用店舗

ミニストップでは、建物としてFSC®認証を取得した店舗と、FSC®認証材を使用した店舗の2通りを展開しています。該当店舗には、壁面等に告知をしお客さまにも訴求しています。



[建物としてFSC®認証店舗]



[FSC®認証材使用店舗]

■FSC®認証材活用の取り組み



新規開店店舗および改装店舗のイートインコーナー(机・椅子)において、FSC®認証材を活用しています。